

令和7年10月3日

保護者 各位

札幌市立札幌小学校
校長 佐賀 主昌

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

秋冷の候、保護者の皆様には、ますます御健勝のことと存じお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝いたします。

さて、4月に、全国の小学校6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせいたします。今回の調査は6年生児童に実施したのですが、この結果をもとに児童の学習状況の傾向や課題を把握し、今後の教育活動に生かしてまいります。

【 小学校 国語 】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 「我が国の言語文化に関する事項」 ▼全国平均を下回っている。 「話すこと・聞くこと」 ▼全国平均を下回っている。 「書くこと」 ▼全国平均を下回っている。 「読むこと」 ▼全国平均を下回っている。	● 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるか。 ● 情報と情報との関係付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるか。 ● 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるか。 ● 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるか。 ● 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるか。	○ 漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しい使い方ができるようにする学習活動の充実を図る。 ○ 短い語句で端的に表したり、図などを用いて情報を整理、分析したりする学習活動の充実を図る。 ○ 話し手の考えと自分の考えを比較し、共通点や相違点を整理し、まとめる学習活動の充実を図る。 ○ 文章を書く際は、書く目的や意図を明確にし、それに合わせて書いたことをメモ書きにしたり結論を明らかにしたりする準備を行い、条件に合わせて自分の考えを書き表す学習活動の充実を図る。 ○ 時間や事柄の順序を表す言葉を見つけたり構成について考えたりしながら文章を読む学習活動の充実。

【 小学校 算数 】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「数と計算」 ▼全国平均を下回っている。 「図形」 ▼全国平均を下回っている。 「測定」 「変化と関係」 ▼全国平均を下回っている。 「データの活用」 ▼全国平均を下回っている。	● 異分母の分数の加法の計算ができるか。 ● 小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるか。 ● 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるか。 ● 伴って変わる二つの通量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することができるか。 ● 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるか。	○ 分数や小数の加減法の仕方について、分数や小数の意味や大きさに着目して考える活動の充実を図る。 ○ 辺の長さや位置関係、角の大きさなど、図形の構成について考えたり、用具の正しい使い方を身に付けたりする活動の充実を図る。 ○ 日常の事象について、二つの数量の関係を把握したり、関係する数量を見いだしたりする活動と、二つの数量の関係を式や図、言葉で表す活動の充実を図る。 ○ グラフの読み方や必要な項目の数値と関係について計算したり考察したりする活動の充実を図る。

【 小学校 理科 】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「エネルギー」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。 「粒子」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。 「生命」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。 「地球」を柱とする領域 ▼全国平均を下回っている。	● 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているか。 ● 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているか。 ● ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているか。 ● 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して表現することができるか。	○ 電流の働きや性質について、実験や観察を通して考察し、理解を深める学習活動の充実を図る。 ○ 既習の内容や生活経験を基に、温度を変化させたときの水の状態変化について根拠を明確にして考察する学習活動の充実を図る。 ○ 花のつくりやその役割について実験の結果や観察したことから関連付けながら理解を深める学習活動の充実を図る。 ○ 実験の結果や観察したことを基に、数値や現象の変化について根拠を明確にし、他の事象に関連付けて考察する学習活動の充実を図る。

【生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果について】

全国平均値と比較して、肯定的な回答が多い項目

- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・あなたは、自分がPC、タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・理科の勉強は得意ですか。
- ・理科の勉強は好きですか。
- ・理科の授業では、問題に対して答えがどのようなのか、自分で予想（仮説）を考えていますか。

全国平均値と比較して、肯定的な回答が少ない項目

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- ・国語の授業で、目的に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか。
- ・算数の勉強は得意ですか。
- ・算数の勉強は好きですか。
- ・算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

全国平均値と比較して、差異が大きい項目

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）

30分より少ない … 全国：12.4% 本校：19.4%
まったくしない … 全国：5.7% 本校：18.1%

- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）

1時間より少ない … 全国：35.2% 本校：31.9%
まったくしない … 全国：17.5% 本校：37.5%

解答を文章で書く問題について「まったく解答しなかった」と答えた児童が3教科とも全国平均を上回っていました。一方で、「時間が余った」と答えた児童の割合も全国平均を上回っていました。

2020年から実施されている新学習指導要領における評価観点の一つである「主体的に学習に取り組む態度」では、自らの学習を調整し、粘り強く取り組む中で、知識・技能を獲得したり思考力・判断力・表現力を身に付けたりしたかを評価します。基礎基本の定着を図り、基礎基本や既習を活用する力を伸ばすことで「難しいことにも粘り強く挑戦する意欲」を高めていきたいと思います。

「基礎基本の定着」には、御家庭での学習も欠かせません。本校では、家庭での学習時間が30分以下という回答が37.5%（平日、全国比+19.4%）となっています。今一度御家庭でも家庭学習への取組についてお子さんと御確認いただけますようよろしくお願いいたします。

児童質問紙の結果から

- ・困っている人や地域・社会など、誰かのために何かをしたいという気持ちをもっている児童が多いです。その一方で、「自分にはよいところがあると思う」「努力すべきことを決めて取り組む」と回答した児童の割合が全国平均と比べて低くなっています。いろいろなことに自信をもって取り組めるよう、子どもたちの頑張りや良いところを認め、自己肯定感を高めていく関わりを大切にしていきたいと思います。
- ・「考えが伝わるように書く」ことが苦手な傾向にあります。全国平均と比べて、国語が好きだと回答している児童の割合が高いので、国語科を中心に他の教科や自治的活動等でも子ども一人一人が考えをもち、分かりやすく伝えるために工夫する場を充実させ、「書く」ことへの苦手意識や抵抗感を軽減していきます。
- ・「理科が好き」「理科は得意」と回答している児童の割合が全国平均に比べて高く、その中でも「生活経験や既習を基に予想（仮説）することが好きである」と回答している児童が多いです。課題に対して主体的に探究し、自分の考えをもちながら学習を進めることができるよう、今後も単元や題材の工夫に取り組んでいきます。